

ACEs への医療と教育

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2020年7月4日(土)・5日(日)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、
並びに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:150名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受 講 料:14,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田生命名古屋ビル ホール ※詳細地図は受講証に添付いたします

名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル 16階

(名古屋市営地下鉄東山線・名城線「栄駅」5番出口より徒歩1分)

講師陣ご紹介

*** ご企画/杉山 登志郎 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 ***

(ご出講順) 滝口 慎一郎 先生:福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部 特命助教

宮口 英樹 先生:広島大学大学院医系科学研究科作業行動探索科学 教授

宮地 尚子 先生:一橋大学大学院社会学研究科 教授(精神科医)

和久田 学 先生:公益社団法人子どもの発達科学研究所 主席研究員

若林 巴子 先生:Oakland 大学教育学部准教授、ミシガン ACE イニシアティブ・マスタートレーナー

渡辺 好恵 先生:NPO 法人埼玉子どもを虐待から守る会 副会長

最近、愛着障害を抱える子どもたちが問題になっていますが、被虐待などの小児期の逆境体験(ACEs)は、生涯に渡る悪影響を引き起こし、それは精神保健に留まらず慢性疾患やガン、肥満にまで及びます。ACEsは脳に変化を引き起こすので、学習や、対人関係にも強く影響します。

つまり、ACEsを考慮した対応を工夫しなければ教育はできないのです。

本講座では、ACEsに焦点を当て、その深刻な影響と、それに対する教育、保健、医療における最新の対応をまとめます。

【福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 杉山 登志郎】

	日程	時 間	テ ー マ	講 師 (敬称略)
プ ロ グ ラ ム	7 月 4 日 (土)	13:00~14:20	子ども虐待は脳にどのような影響を与えるのか	滝口 慎一郎
		14:30~15:50	コグトレ:理論と実践	宮口 英樹
		16:00~17:30	トラウマと文化 その再検討	宮地 尚子
7 月 5 日 (日)		9:00~10:20	子どものACE体験と学校教育 いじめ、教育の中でのACE	和久田 学
		10:30~12:00	ACEsへの教育プログラム:Trauma sensitive school program	若林 巴子
		13:00~14:20	ACEへの保健活動	渡辺 好恵
		14:30~15:50	ACEへの精神医療	杉山 登志郎
		15:50~16:30	シンポジウム	全 講 師

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。